

平成28年度 1学期 地域連携部マネジメント

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。									
分掌重点目標	・将来への夢や目標を持ち、進路実現に向けて学習に取り組む生徒の育成 ・困難なことから逃げず、友達とその課題について乗り越えようとする生徒の育成 ・地域とのつながりを大切にし、地域に貢献しようと動くことができる生徒の育成									
柱となる活動	常時活動	4月	5月	6月	7月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do & Check	二期への提言 Action	
みずから学ぶ活動	◎自学ノートを活用して、自分の課題を克服する生徒の育成 ・各クラスの自学ノートのモデルを掲示する。	○学習指導部と歩調をそろえ、自学ノートづくりについて、各学級で指導する。	○参考になる自学ノートはピックアップし、教室内外に掲示することで、他の生徒のモデルとする。 (中間テストに向けて)	○自学ノートの名前ラベルがアップグレードされている生徒の数を増やすなどの工夫をし、学年全体で取り組もうとする雰囲気を作る。	○1学期のまとめとして自学ノート・コンテストなどを企画したり、優秀なノートの生徒の複写とコメントを合わせて掲示するなど、夏休みに向けて自学の充実を図る。	自学ノートを毎日提出できる。	自学ノート提出率85%			
	◎職場体験学習に向けた準備及び実施・振り返り	○各学年とも校内の委員会活動を責任を持って果たすことで、勤労、貢献といった意識を育む。	○職場体験に向けて、訪問先の最終決定、勤労感の醸成など、素地づくりを行う。 ○1・3年生についても、働くことの意義や職場体験を思い出させながらの話など、2年生だけのイベント的な活動にならないように、その前後の学年でも意識付けする。	○職場体験を直前に、生徒と訪問先の打ち合わせ及び体験学習の実施、振り返りを行う。 ○2年生が職場体験を実施している期間に、1・3年生も学年ごとに勤労観に関する学活や道徳的な内容を扱い、全校で勤労に関する意識を高める。	○職場体験の振り返りと保護者等へ向けた出力場面を想定したまとめ活動を行う。 ○運動会・文化祭の一人一役など、校内の社会生活において貢献していこうとする意識付けをする。	将来への具体的な夢や目標を持つことができる。	項目「将来への夢や目標がある」の肯定的評価85%			
みずから鍛える活動	◎メディアとの付き合い方を考え、視聴時間等のコントロールを自らできる生徒の育成 ・生徒、保護者へのメディアとの付き合い方の啓発 ・生活日誌へ記録し、自己評価		○生活日誌の状況から、学校の現状を把握し、HP等で情報発信する。 ○情報モラルを扱った学習を実施し、それと関連付けてメディアとの付き合い方を考える機会を作る。			平日のメディアとの接触時間が2時間以内	平日にメディアとの接触時間が2時間以内の生徒が60%			
	◎チャレンジデーで挑戦する目標を定め、それに向けて努力する生徒の育成 ・チャレンジデー記録用紙を毎回提出	○4月13日の第1回チャレンジデーで年間のチャレンジ項目の設定をさせる。 ○保護者あての文書を配布し、啓発する。	○チャレンジデー記録用紙から、参考になる事例を仲秋出し、HP等で情報発信する。			チャレンジデー記録用紙を使い、毎月の蓄積を意識しながら実施する。	チャレンジデー実施率が80%以上			
みんなと生きる活動	◎地域行事に積極的に参加し、地域から期待される生徒の育成 ・町区長の生徒を中心として、参加、役割分担等を自主的に行う町区別生徒会の運営	公民館からくる参加要請については、その都度町区別生徒会を実施、参加生徒を募る	町区別生徒会を通して、参加体制の確認		夏祭りの準備など、夏の行事への参加	地域行事等への積極的な参加	参加について肯定的な評価75%			
	◎校内でのボランティア活動に友達と誘い合って参加する生徒の育成 ・JRC委員会のボランティア活動	JRC登録式を通して、貢献の精神を育む	JRC海岸清掃ボランティアで岩美町をきれいにする。	JRC委員会の活動に協力する(ペットボトルキャップなど)	サマーボランティアの申込みの促進 キッズ・トライスロンのボランティア申込みの促進	校内ボランティアへの積極的な参加	参加について肯定的な評価85%			
	◎異校種との交流をとおして、関わることの大切さを学ぼうとする生徒の育成 ・赤ちゃんふれあい体験、小6・中2交流会、体験入学など		赤ちゃんとのふれあい体験を通して、命の尊さや幼いころの純粋な気持ちを思い出さすなど、							
	◎誰にでも気持ちの良いあいさつができる生徒の育成 ・若鷺あいさつ見守り隊 ・若鷺見守りDAY	学校生活のルール、特に挨拶について全校や学級で指導し、生徒自ら気持ちの良い挨拶ができるように仕切り直しを図る。	執行部や応援団などリーダー的な立場の生徒を活かし、あいさつの見本となるような活動をさせる。	室長会などであいさつの状況を振り返らせ、必要な場合は学年ごとで強化的な取り組みをする。						